

# 私が思い描く葬儀祭壇

花き装飾コース

## 1. はじめに

インターンシップⅢで冠婚葬祭・イベントフラワー装飾の会社に行き、内定を頂いた。インターンシップ期間中で、一番印象的だったのが祭壇だ。実際に祭壇を作る機会があり、形やバランスをとる事などが難しく苦戦した。だが、苦戦した祭壇から得られた達成感が忘れられず、もう一度祭壇を作りたいと思い制作に取り組んだ。また、去年の先輩の卒業制作の祭壇を見て感動したからだ。先輩の作品はとても大きく綺麗な祭壇を作っておりその作品に感銘を受け、私も先輩みたいな大きな祭壇を一人で作りたいと思い、祭壇の制作に取り組んだ。

今まで、あまり見たことのないような祭壇を作りたいと思い、こういった祭壇があれば良いなと思える祭壇や、自分の祭壇はこんな祭壇にしたいと私が思い描く葬儀祭壇を制作した。

## 2. 作品制作

### (1)「虹」



デザイン画 (案2)



完成

- ・「虹の架け橋に乗ってゆく」イメージ。
- ・案1は、5色で上から赤色のカーネーション、黄色のオンシジューム、緑色のSPマム、青色のデルフィニウム、雲のイメージとなる白色のカスミソウの順番で挿していくデザイン。→5色よりも7色の方が虹らしいと思った。
- ・フィラフラワーのオンシジュームでは、虹のラインが出しにくかった。
- ・案2では、同系色の7色にした。上から、赤色のケイトウ、朱色のSPマム、赤色のカーネーション、朱色のカーネーション、黄色のアルストロメリア、緑色のアルストロメリア、緑色のカーネーション、雲のイメージとなる白色のカスミソウの順番で挿していくデザイン。
- ・花の形状によって、作りやすい作りにくいデザインがあることを知った。
- ・縦のアウトラインに膨らみを出せなかったのが、中央に目安になる縦のアウトラインを先に挿すと、全体的に膨らみを出すことが出来た。
- ・はじめ制作時間が4時間だったのが、2時間で完成をすることが出来た。  
→確実にスピードが上がっていることが実感出来た。
- ・虹のラインにこだわっていたので、「虹のラインが綺麗」と感想を受け、とても嬉しかった。

## (2)「四季」



- ・「春夏秋冬」をイメージ。
- ・12月は、市場で春夏秋冬の花が入手出来る。  
→1つの祭壇に春夏秋冬の花を入れる。一目見ただけで分かりやすくするために色でも、春夏秋冬を表現。春は桃色、夏は黄色、秋は赤色、冬は白色。
- ・SP マムでフレームを作り、その中に春夏秋冬の花を入れた。
- ・時間がなかったため、デザイン画を書かずにデザインを考えながら制作した。  
→はじめにデザインをしっかりと考えないと、制作に時間がかかり、イメージを形にする事が難しかった。  
→制作しながらデザインを考える力がない。
- ・フレームの形を決めるのが難しかった。  
→四季の花を同じボリュームにしないと違和感がある。
- ・見た方に「四季だとすぐに分かった」と感想を受け、とても嬉しかった。

## 3. まとめ

デザインを考え、市場、花材購入から資材調達、制作までを1人で行ったのでとても苦戦した。

計画を立てても計画通りに進められない事が多かったが、祭壇が完成した時の達成感や試作を繰り返すと段々、制作スピードが上がって、技術の向上を実感でき、やりがいを感じた。何よりも、完成した祭壇を見た方のコメントはとても励みになり、頑張っていたと思った。

技術も経験も足りないなので、はじめにデザインをしっかりと考えてないと制作するのは難しく、何度も作り直しをして時間がかかった。今後は、経験を積み技術を向上させて力を付けていきたい。

卒業後は、故人様のご家族にご満足して頂けるような祭壇を作れるように励んでいきたい。